**高齢者（２３価）の肺炎球菌ワクチン接種をご希望の方へ（必ずお読みください。）**

＜参考＞

**高齢者の肺炎球菌ワクチンを接種する際の注意点**

**【病気の概要】**

肺炎球菌感染症は、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛沫感染します。日本人の約３～５％の高齢者では鼻やのどの奥に菌が常在しているとされています。これらの菌が何らかのきっかけで進展することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。

肺炎球菌ワクチンを接種することで、肺炎球菌による肺炎の予防や肺炎にかかっても重症化しにくくなる等の効果が期待されます。

**【予防接種を受けることが適当でない方】**

次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種を行わないでください。

1. 明らかに発熱している方（通常３７.５℃以上をいいます。）

2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方

3. ワクチンに含まれる成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある方

4. ５年以内にこのワクチンを接種したことがある方（注射した部分が硬くなる、痛む、赤くなるなどの症状が強く出ることがあります。）

5. その他、医師が予防接種を行うことが不適当な状態と判断した方

**【接種の判断を行うに際し、注意を要する方】**

健康状態及び体質を勘案し、次のいずれかに該当すると認められる場合には、注意して接種を受ける必要があります。（接種医にご相談ください。）

1. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方

2. 予防接種で接種後２日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を起こしたことがある方

3. 過去にけいれんの既往がある方

4. 過去に免疫不全と診断された方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方

5. ワクチンに含まれる成分に対してアレルギーを起こすおそれがある方

**【予防接種後の注意事項】**

　接種後に発熱したり、接種をした部位が赤くなったり、腫れたりすることがありますが、一般にその症状は軽く、数日中に消失します。

接種当日は激しい運動を避けてください。（接種当日の入浴は差し支えありません。ただし、注射したところをこすらないでください。）

**接種後は健康管理に注意し、もし高熱や体調の変化、その他局所の異常反応に気づいた場合は、ただちに医師の診察を受けてください。**

**【健康被害救済制度について】**

予防接種により健康被害が生じた場合、厚生労働大臣が当該予防接種と因果関係があると認定したときは、国の予防接種健康被害救済制度の補償対象となります。

長井市健康スポーツ課